

クズ



クズ (東京理科大学 植物園)

2024/09/18 撮影



カッコン (東京理科大学 生薬標本室)

2024/09/26 撮影

学名: *Pueraria lobata*

生薬和名: カッコン (葛根)

科名: マメ科

属名: クズ属

薬用部位: 周皮を除いた根

生薬の性状: 繊維性で、無臭。わずかに甘い。

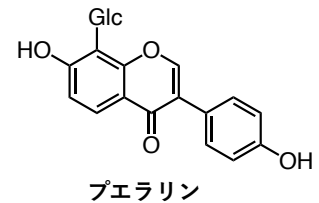
主要成分: イソフラボノイド類 (プエラリン、ダイゼイン、ダイジンなど)

サポニン類 (ソヤサポゲノール配糖体、クズサポゲノール配糖体)

主な漢方処方: 葛根湯、葛根加朮附湯、桂枝加葛根湯

主な薬効: 鎮痙、解熱

産地: 中国 (四川、湖北、甘粛省、重慶市など)、日本 (長野、奈良、群馬など)、韓国



タイ原産の多年生つる性草本で、タイではガウクルアと呼ばれる。大きく生長した塊根には、プエラリンなどのイソフラボン類やミロエストロール、デオキシミロエストロールを含み、いずれも強い女性ホルモン様作用を示す。タイでは催乳薬として使われる。

根から取れるデンプンをクズデンプンといい、滋養剤とするほか、結合及び崩壊が良いという特徴から、良質の錠剤賦形剤とされる。ただし、市販のクズデンプンはほとんどがジャガイモデンプンである。

花 (葛花)は二日酔いの薬として知られている。

秋の七草の1つ。

【参考文献】

- ・薬用植物学 改訂第7版 監修:水野 瑞夫 南江堂
- ・生薬単 改訂第3版 監修:伊藤 美千穂、北山 隆 著者:原島 広至 丸善雄松堂
- ・新訂生薬学 改訂第9版 編集:木村 孟淳、酒井 英二、牧野 利明 南江堂

2024/09/27 YP Y.H